

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名>

乳癌組織検体を用いた PI3K 遺伝子変異解析

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野 (研究責任者) 増田 しのぶ

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

この研究は乳癌に対する新しい治療標的分子を探索することを目的としています。細胞膜は脂質の二重膜からなっており、その構成成分の一つであるリン脂質 Phosphatidylinositol-4,5-biphosphate をリン酸化する酵素が Phosphoinositide 3-kinase (PI3K)です。乳癌の治療に対する抵抗性を克服するための新たな治療分子として、PI3K の遺伝子異常が着目されており、諸外国においてはこの阻害薬の開発や臨床投与試験が行われています。そのため、臨床研究を実施して特定の乳癌においてこの分子を調べることにより、治療抵抗性乳癌に罹患している多数の患者さんがよりよい治療を受けることができる可能性があります。

<対象となる患者さん>

西暦 2000 年 1 月 1 日～西暦 2019 年 12 月 31 日の期間に乳癌手術を受けられた方

<研究の方法>

この研究では乳癌に対する新しい治療標的分子を探索するために、日本大学板橋病院で 2000-2019 年の間手術を受けられた乳癌患者さんの病理組織検体を使用して、PI3K という分子の遺伝子変異の有無を調べます。これまでの研究により、PI3K 遺伝子変異が生じている可能性がある、乳腺アポクリン癌という特殊な乳癌に焦点を当てて研究を行います。比較対象として、通常型の乳癌においてもこの遺伝子変異解析を行います。すでに摘出された検体と情報を用いますので、新たに患者さんに対して、検体採取や情報収集を行うことはありません。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

腫瘍病理学分野 氏名:増田 しのぶ

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2256